

むぎ

しま

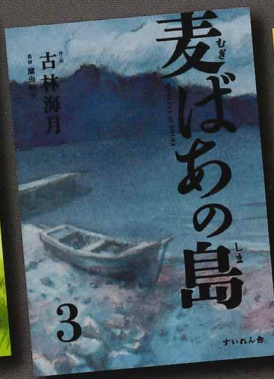
麦ばあの島

ハンセン病人権マンガ

SDGs理解のための学習本

ハンセン病患者・家族の苦しみや悲しみが胸に迫る感動の物語

- 1 ハンセン病問題理解に最適のマンガ
- 2 当事者との交流、資料収集によるストーリー構成
- 3 わかりやすい総ルビと注
- 4 ハンセン病研究第一人者による監修



Story

物語は女子短大生の聡子が望まない妊娠をし、病院で中絶をした場面から始まる。病院からの帰り道、聡子はハンセン病の回復者である高齢女性の麦に出会う。麦も中絶を経験していた。麦のハンセン病の過去を聞き、聡子は自分の生き方を見つめ直していく。元患者の経験した厳しい人生や人権侵害を、読者が自然に学べるように構成した。

著者 古林海月 ふるばやしかいげつ

鹿児島島生まれ。2003年「夏に降る雪」で『イブニング』からデビュー。著作に『米吐き娘』シリーズ、『わたし、公僕でがんばってました。』（いずれもKindle版）などがある。

監修 蘭由岐子 (追手門学院大学教授)

すいれん舎

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-14 第二万水ビル
TEL 03-5259-6060 e-mail: masato@suirensa.jp

全国学校図書館協議会選定図書

ご購入はお近くの書店、もしくはFAX 03-5259-6070へ

ハンセン病人権マンガ

麦ばあの島

●全4巻 ●定価 各巻3,800円+税
●セット価本体 15,200円+税

1巻	978-4-86369-509-2	冊
2巻	978-4-86369-510-8	冊
3巻	978-4-86369-511-5	冊
4巻	978-4-86369-512-2	冊
4巻セット	978-4-86369-513-9	セット

所属先

お名前

番線印(書店用)